



## 第二次交通戦争が始まった

昨年の  
事故死の  
21人

# あなたは思いやり運転して下さるが

人身事故千八百六十三件、死者二十一人、負傷者二千九百九十三人——これが、富士市における昨年の交通事故の実態です。死者二十一人のうち十二人が三十歳以下という痛ましさでした。

全国的にも死者が一万人を超え、昭和四十年代の交通戦争と呼ばれた時期に匹敵する状態で、第二次交通戦争という言葉が生まれています。

そこで今回は、富士市の交通事故の実態、対策について、神谷三丁目の主婦伊東栄子さんをレポーター役に、吉村隆富士警察署交通課長、鈴木知美市交通安全指導員会会長、台保彦市総務課長の皆さんにお集まりいただき、座談会を開きました。

### 発生件数は史上最悪

伊東 皆さんこんにちは、どうぞよろしくお願いします。

一同 よろしくお願いします。

伊東 早速ですが、吉村交通課長さん、昨年は交通事故が大変多かったですと聞いていますが、どんな状況でしたか。

吉村 そうですね。富士市で起きた交通事故は、人身事故で千八百

六十三件、前年に比べて二百一件の増加となりました。

伊東 二百一件もですか。

吉村 死者は二十一人で三人、傷者は二千九百九十三人で二百二十三人の増加でした。人身事故でいえば、県下が前年比七%台の増加なのに、富士市は一二%台と大幅な増加になっています。発生件数と負傷者の数は、富士市の史上最高ですね。死者は過去十年間で、ワースト三位になっています。

(1月1日～12月31日)

### 事故件数

年別	人身事故	死者	傷者	物損事故	
平成元年	1,863件	21人	2,193人	2,567件	
昭和63年	1,662件	18人	1,970人	1,991件	
比較	増減数	+ 201件	+ 3人	+ 223人	+ 576件
	増減率	+12.1%	+16.7%	+11.3%	+28.9%

伊東 まあ、すごいですね。

吉村 死者の数は昭和四十五年の五十六人をピークに下がってきていたんですが、また去年あたりからふえ始めたんですよ。

伊東 そうですか。

吉村 そして、交通事故の内容を見ますと、車両対車両の事故が千八百六十三件のうち千六百七件で八六・三%を占めています。

// 交通事故をゼロに //

座談会出席者



レポーター  
伊東栄子さん(神谷3・主婦)

「世の中気せわし過ぎるから、つい運転が荒つぽくなるんじゃないかな」と語る伊東さん。りすさんクラブ須津地区代表者を務めているだけあって、交通安全には関心があります。今回は、「レポーターなんてできません」と言うのを無理にお願いしました。



富士市役所総務課長  
台 保彦さん(伝法)

台課長には、今、気がかりなことがあります。市が昭和四十二年から行っている市民交通傷害保険のこと。恐ろしい交通事故の補償は、市民みんなの力で始めたものですが、最近加入者が減っています。保険料は年間一〇六〇円。ぜひ御家族で加入を」とアピール。



富士市交通安全指導員会会長  
鈴木知美さん(柚木)

富士市の交通指導員百二十五人の代表者。「熱心に街頭で指導していると、あの人はかなりもろつているんだろうと言われたりしてね。私たちはボランティアなのに」と鈴木さん。第一線で活躍しているだけあって、体験に即した話をしてくれました。



富士警察署交通課長  
吉村 隆さん(富士見台)

昭和六十二年二月に静岡南署から富士署へ。静岡と比べてどうですかとの問いに「運転マナーが悪いですね。市民の皆さんの主な交通手段が車ということもあります。飲酒運転の多さには驚きました」と率直な感想。今回は積極的に協力してくれました。

交通マナーのよいのは

小学生だけ？

伊東 これはどういうことでしょうか。

吉村 まあ、一番の原因は、車がふえた、免許人口がふえたということでしょうね。車は、昔は二・三軒に一台しかなかったのに、今じゃ一軒に二台あることも珍しくないでしょう。

伊東 一人一台って感じですね。交通現場の第一線で活躍されている鈴木さん、車がふえたということを実感として感じられますか。

鈴木 そうですね。街頭へ出ると車がふえ、運転マナーが悪くなっているなと肌で感じますね。

伊東 マナーが悪いというのは年齢的なものもあるんでしょうか。

鈴木 年齢というより全般的によくはないですね。交通マナーがよいのは小学生だけでしょうね。

伊東 まあ、そうですね。どんなことが目につきますか。

鈴木 交差点に立ちますと、信号無視など多いですし、弱者優先といっても、右左折などで気遣いがなされていませんね。

伊東 思いやりがないということですか。

鈴木 そうですね。

伊東 この辺では、信号が黄色に変わると、車はスピードを余計出すなんてことがありますものね。けさも来る途中、信号が変わっているのに発進する車が随分目立ちました。

ふえるヤング事故

伊東 事故の特徴として年代的なものがありますか。

吉村 特にいえるのは、ヤング(二十五歳未満)と初心者の事故がふえていることです。まあ、初心者

吉村 見込発進ですね。鈴木 ですから、事故の発生場所も、交差点あるいはその付近というものが、夏の交通安全運動のときは全体の発生件数の七二%ありました。

にはヤングも多いですがね。ヤングの事故は六百四十件で、全体の三分の一になります。

伊東 はい。

吉村 そして、ヤングの事故は、スピードの出し過ぎ、信号無視、一時停止違反などの原因が多いのですが、単一的な原因は少ないんです。スピードの出し過ぎに信号無視とか原因の重なっていることが多く、大きな事故につながるといえるのが実情です。

伊東 小さい事故も大きくなってしまっているんですね。

平成元年の死亡事故発生状況	件数	月 日	時 間	発 生 場 所	年 齢	性
1	2月 8日	18時55分	入山瀬320-16	42	女	
2	3月10日	7時50分	新橋町8-13	19	男	
3	4月28日	18時30分	森島234-22	56	男	
4	5月 9日	21時30分	高島町71	78	女	
5	6月 6日	2時00分	鈴川西町21-11	16	女	
6	6月 6日	4時10分	伝法2686	78	男	
7	6月10日	1時25分	永田北町5-22	30	男	
8	7月 5日	10時00分	桑崎1125-1	28	男	
9	7月24日	1時30分	宮島203-1	16	男	
10	9月12日	0時10分	石坂456-5	23	男	
11	10月 3日	0時30分	青島町155	22	男	
12	"	"	"	20	男	
13	10月 5日	19時19分	久沢723-1	17	男	
14	10月10日	23時25分	三ッ沢387-13	56	男	
15	10月24日	1時20分	伝法989-1	39	男	
16	10月29日	5時25分	中河原3601	22	男	
17	11月13日	23時00分	大野新田332-1	20	男	
18	11月25日	17時14分	中野568-4	79	男	
19	12月 8日	12時45分	中里2626-22	30	男	
20	12月13日	17時10分	大淵2844-4	49	女	
21	12月18日	8時20分	伝法2823	33	男	



吉村交通課長

吉村 それからヤングは運転技術が未熟な割りに、自分の運転を過信するんです。センターラインオーバーなどは、いい例でしょうね。

伊東 いつの時代でも若い人はそういう傾向があるかしらと思うのですが、特に最近ふえてくるのは特別に何かあるのでしょうか。

吉村 若い人の免許人口がふえていることと、若い人がすぐ車を持てる社会状況ですね。若い人の方が皆さんよりいい車に乗っているでしょう。  
伊東 そうですね。(笑)

### 大切な交通安全教育



台総務課長

台 年代的な特徴のことですが、最近の死亡事故に幼児は入っていません。これは教育が徹底しているからだと思います。一方、ヤングや高齢者の交通安全教育は、まだ始まったばかりなんですよ。

伊東 りすさんクラブなど交通安全教育を受けた子供たちが、免許をとる時代になって、モラルとか思いやりとかを持ったまま免許をとればいいのですが…。

吉村 そうですね。でも中学・高校へ行くと交通安全教育の機会は減ってしまうので、その辺は課題かもしれません。  
台 あとは、免許人口の高齢化。お年寄りはこれまで交通弱者とされてきましたが、加害者の立場に変わってきています。

### ふえる高校生の事故

伊東 高校生の事故もふえているようですが、鈴木さんたちが街頭にいて、いかがですか。

鈴木 中・高生が事故にかかわる数は多くありませんが、目にあまる行為は多いですね。

伊東 そうしますと、指導員さん方が、一番指導しがいがあると



△高校生の皆さん心当たりは？

伊東 市役所にもそういう話がありますか。

吉村 高校生のことはいろんな場で言われますよ。自転車の無灯火・並進・みんなで渡れば怖くない式の信号無視などね。

伊東 市役所にもそういう話がありますか。

台 きますよ。高校生に限らず子供もお年寄りも「自転車も乗れば車の仲間入り」という意識を持つことが大切ですね。

### 地域ぐるみで運動を

伊東 最近の状態から、第二次交通戦争という言葉が生まれているようですが、何かよい手だてはないのでしょうか。

鈴木 昭和四十年代後半の第一次交通戦争が終結できたのは、安全施設の整備のためと思うのです。そして、現在、第二次交通戦争と言われることの背景には、これまでのお話のとおり、いろいろな原因があると思いますが、交通モラルの低下・運転マナーの悪さという

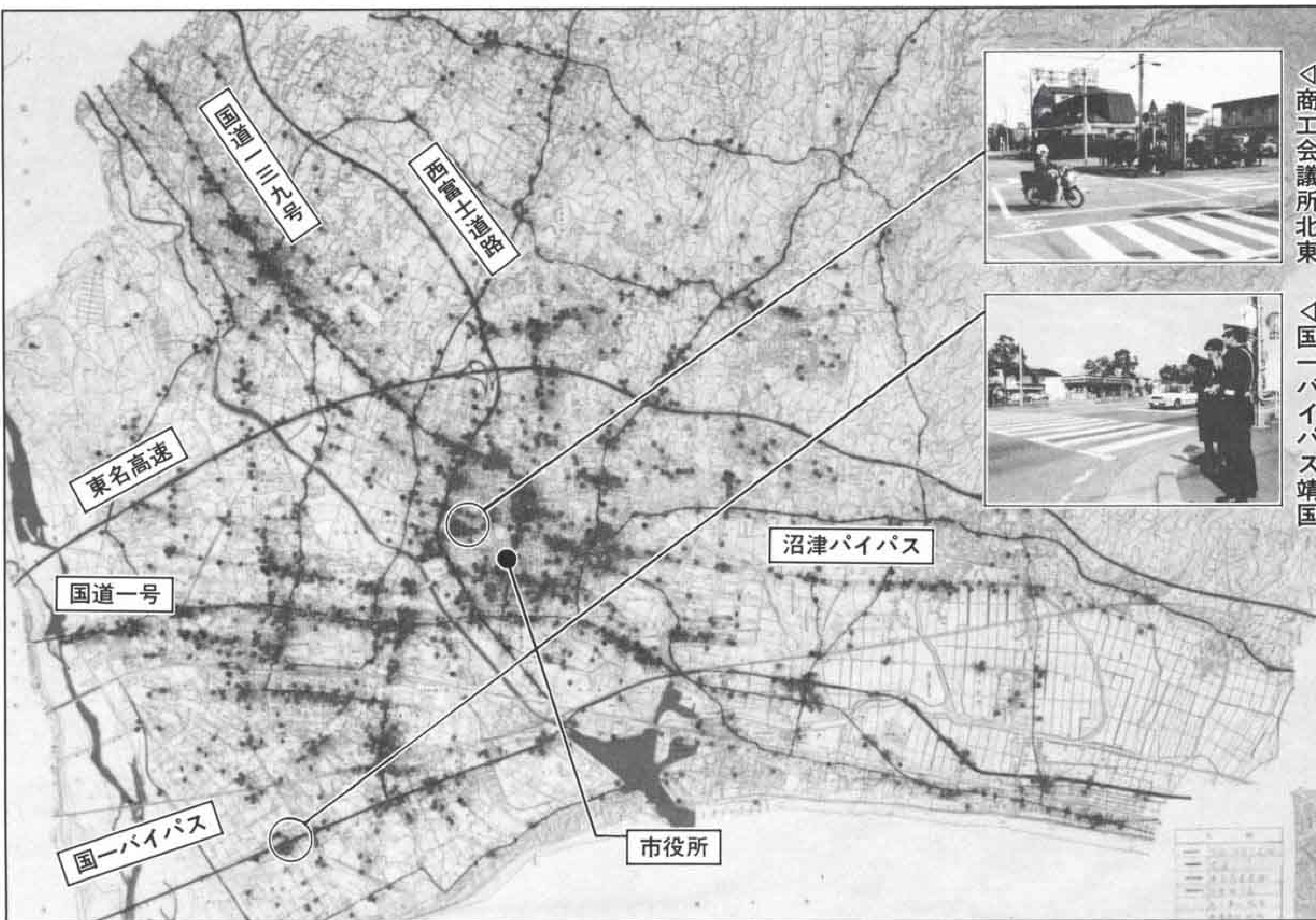
## 平成元年 交通事故マップ

### 最近事故の多い交差点

△商工会議所北東 △国一バイパス靖国



写真の中の点が事故発生地点、主要道路の交差点に多いことがわかります。



// 交通事故をゼロに //



△2月23日、源平橋で交通事故ゼロ67日更新キャンペーンが行われました

ことが立ちほだかっています。  
**伊東** そう思いますね。  
**鈴木** このモラル・マナーの向上というのは、なかなか難しいことですね。本来、地域や家庭でやらなければならぬことも含まれているのですから…。  
**伊東** 思いやりや優しさというような心の問題にもなりますね。  
**鈴木** そうなんです。一番大事なことは、地域・家庭からのマナーの向上ですね。私の住んでいる富士駅北地区では、地域ぐ

るみで交通安全運動をして、成果を上げましたよ。  
**吉村** 先ほど、交差点での事故が多いという話が出ましたが、交差点対策には信号機の設置が一番です。でも、信号機は設置できない交差点もあるので、最近では夜、交差点の中央でピカピカ光る中心鏡も多くなっています。  
**伊東** ほかにいかががでしょうか。

安全運転を自発的に

台 市でも道路交通環境の整備から交通安全思想の普及まで、いろいろなことをしています。中でも交通安全教育はとても大切なことだと思います。交通安全母の会やりすさんクラブ、お年寄りの会など、いろいろな分野で交通安全の身近なリーダーをつくるのが交通事故の減少につながりますね。  
**伊東** 交通安全を身近に感じられますね。吉村さんどうですか。

身近なリーダー養成を

伊東 交通安全を受け身的な物から自発的な活動にするんですね。台さんはいかがですか。



鈴木交通安全指導員会会長

**鈴木** 思いやりと譲り合いの心を醸し出させるようなものを考えなければ、だめですよ。今は、安全運転意識の向上のために、ティッシュや花の種などを配って、一つの手段としていますが、むしろ、安全は自分で買うんだぐらいの意識が必要ですね。ですから、道を譲ってもらったら、そのいただいた気持ちはほかの人にも返そうというような運動を起こせたらと思っています。例えば、赤い羽根のような物をミラーにつけて「私たちはそういう運動を実行するよ」という意思表示をすとかね…。  
**伊東** 交通安全を受け身的な物から自発的な活動にするんですね。台さんはいかがですか。

自分の命は自分で守る

**吉村** 各人が自分の命は自分で守るんだという認識をしっかりと持ってほしいですね。そうすれば、マナーは上がり、ルールは守られると思います。

**伊東** 大切なことですね。

**台** いずれにしても、私たちは日常生活の中で車に頼る部分は、これからまだまだ増していくと思います。富士市は昭和四十二年に交通安全都市を宣言していますので、それに恥じないように、市民総ぐるみで交通事故防止に取り組んでいきたいと思っています。  
**伊東** きょうは、どうもありがとうございました。

りすさんクラブへ 入りませんか



りすさんクラブは、お母さんとその子供（3歳～小学校入学まで）が、ゲームや遊びを通して交通の勉強を一緒にする楽しい組織です。

- 本当の名前 「富士市幼児交通安全クラブ」といいます。
- 何のために お子さんを交通事故から守るため
- 何してる 4月「右側通行」、5月「正しい横断の仕方」など一年間を通して活動しています。現在、市内に111クラブ・5,500人の仲間がいます。
- 問い合わせ 市総務課 ☎51-0123 内線2768か、富士警察署婦人交通指導員 ☎52-2543 内線329へ。

レポートを終えて もつと関心を持つて



伊東栄子さん

交通事故は遭わなければ全く関係のないことのようにですが、一歩誤ると、だれでもが被害者や加害者になる可能性があります。ですから、市民一人ひとりもつと関心を持って、自分さえよければよいという考えを改めるべきだと感じました。